

## 学習評価に関するQ&A

**Q1** 観点別学習状況(中学校)の評価が「AAB」の場合、評価が5と4があるのはなぜですか。

**A** 評価は、一律に決まるわけではありません。AとB(小学校では◎と○)にはそれぞれに幅があり、BにはAに近いBと、Cに近いBがあります。よってその総括としての評価にも幅が出てくるので、評価に違いが出てきます。

**Q2** 他の学校へ転出した場合、その学校での学習評価(観点別学習評価や評価)に違いが出ませんか。

**A** 市内の各学校では、共通した学習のめあてを教科ごとに設定し、このリーフレットの考え方に基づいて学習評価を行っていますので、大きく違うことはありません。

**Q3** 中学校のペーパーテストで高得点を取ることができましたが、評価が5ではなく4でした。各教科の評価は、どのような項目で評価をするのですか。

**A** 評価は、テストの点数のみで決定されるものではありません。各教科では、目標に照らし合わせて、その学習の実現状況を評価できる評価項目と評価方法を設定します。例えば、ペーパーテストによる評価の他、実技や表現などのパフォーマンスによる評価、レポートや作品等の作成物の評価、実際の話合いの様子を観察や、ノートやワークシートの記述や授業中の発言からの評価等、学習の実現状況を評価するのに適した様々な評価項目や評価方法で評価します。

## 学校では、こんなことに努力しています

基礎・基本の確実な定着を目指して、少人数指導・習熟度別指導・ティームティーチング等の指導法の工夫に努めています。



評価を生かし、子供たち一人一人の力を伸ばすために、補充的・発展的な学習等に取り組んでいます。

子供たちや保護者のみなさまの授業評価を生かして授業改善に努めています。

評価の妥当性や信頼性を確保するために、評価規準や評価方法の研修に努めています。

学校だよりや保護者会等で評価についての説明をしています。

家庭との連携をとりながら、家庭学習の習慣化が図れるように努めています。

保護者のみなさまへ

## 新学習指導要領における これからの学習評価

新学習指導要領が平成29年3月に告示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面実施となります。それに伴い、学習評価の観点の見直しが行われました。

### 学習評価についての基本的な考え方

今回の改訂でも、学習評価は、学習指導要領に定める目標に対する、一人一人の達成度をみる「目標に準拠した評価」(いわゆる絶対評価)によって行われます。

学校は、一人一人の学習の目標の到達度を評価し、学習指導要領に示された資質・能力が確実に身に付くよう、学習指導の改善を行っていきます。また、子供たち自身が自らの学習を振り返って次の学習につながるように支援していきます。

保護者のみなさまには、新しい学習評価についてご理解いただき、通信票等で受け取った結果をもとに、子供たちの学習がより充実するようにご協力をお願いいたします。

ひたちなか市教育委員会  
市教育研究会教育課程研究部